

みずくらいど

校長 加藤雅弘

「みずくらいど」は、願い・象徴

4月26日発行の第7号で「校長先生、『みずくらいど』って、何ですか？お母さんも疑問に思っています。」という内容を掲載しました。その後、実際に家庭で調べてノートにまとめて提出してくれた児童がいました。その児童が調べた内容と予想は以下のようなものでした。

いつも校長先生が配っている「みずくらいど」の意味を考えてみました。

意味 まず、「みずくらいど」の漢字は水喰土。これが「みずくらいど」の漢字です。

ここから意味を伝えます。

「みずくらいど」は水を喰う土という意味です。

昔、玉川上水を作ろうとした人が、この「みずくらいど」のせいで失敗したそうです。

でも、あきらめずに3回目でせいこうしたそうです。

だから、きっと校長先生は、あきらめない強い心という意味でタイトルをつけたのだと思います。

すばらしいです！まず、「？」⇒「予想」⇒「確かめる・調べる」という7号のタイトルを実行してくれたことに、価値があります。大変うれしく思います。次に、「なぜ、そうなのか」つまり「なぜ、みずくらいどが校長室通信のタイトルなのか」の予想を、まちがっているかもしれないことを恐れず、表明したことです。「教室はまちがうところ」も実行してくれました。さらに私が感心したのは、文章がとても読みやすいということです。読みやすい要因は他にもありますが大きく2つです。1つは一文一文が短く歯切れがよいこと、もう1つは、接続語「まず」「でも」「だから」などが的確に使われていることです。また、理由についても、「あきらめない心」という要素は水喰土のエピソードからも十分に根拠として考えられます。

疑問に感じたことを、自ら調べ、解釈や推測を入れて自分なりの結論を紡ぎだす。とてもクリエイティブな思考をしていることが分かります。まさしく20年後に求められる力です。ここで重要なのは、これが正しいかどうかではないということです。これから求められるのは、予め正解が分かった問題を解く力ではなく、試行錯誤しながら、新しい道を切り拓いていく力です。

右は本校の教職員が考えたものです。上記の児童と同様に言葉の意味を調べ、タイトルにした理由を予想しています。これを実際の授業で行えば、他の児童からも意見を出して盛り上がるころですが、残念ながらここでは私の想いをお伝えします。

「水」は吸収してほしい考え方や態度、「水喰土」は子供たちのことです。つまり、様々なことをどんどん吸収して成長してほしいという願いや象徴として「みずくらいど」を通信のタイトルにしています。

前号で紹介した挨拶の姿は、まさしく「水喰土」そのもの。本日も多くの児童が立ち止まって挨拶をしていました。

